



そろそろインフルの季節です。 感染予防はしっかりと!

令和2年11月18日
富山県感染症情報センター
(0766-56-5431 直通)
(0766-56-8142 細菌部)
(0766-56-8143 ウイルス部)

感染症発生動向速報

(令和2年第46週分・11月9日～11月15日)

《インフォメーション》

●インフルエンザ

県内での2020/2021シーズンのインフルエンザの発生は、過去同時期と比較して少ない状況です(右上段図)。9月以降は定点医療機関からの届出は無く、入院サーベイランス(県内5基幹定点医療機関からの届出)で1例報告されているのみです。国内においても、昨年同時期(第45週時点)と比較して約1/200の報告数となっており、散発的な発生にとどまっています。

例年11月から12月にかけて流行が始まり、38℃以上の発熱、頭痛や関節・筋肉痛などの全身症状が特徴です。高齢者や持病のある方では肺炎合併のリスクがあります。小児ではまれに脳炎・脳症を発症します。重症化対策として、流行前のインフルエンザワクチン接種が有効です。ワクチン接種の効果が現れるまで約2週間かかり、効果は5ヵ月間持続しますので、11月中の接種を検討されるようお願いいたします。

今年は、インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の同時流行の発生が懸念されています。このため、令和2年11月9日付で、県では、発熱患者等に対する新たな相談・受診体制を公表しています(右下段図)。医療機関を受診する際には、電話相談のうえ、医療機関の指示に従ってください。また、感染防止対策として、3つの基本である①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗いや、3密(密集、密接、密閉)を避ける、換気の実施、適度な保湿(湿度40%以上を目安)等の対策に努めましょう。

《全数報告の感染症》

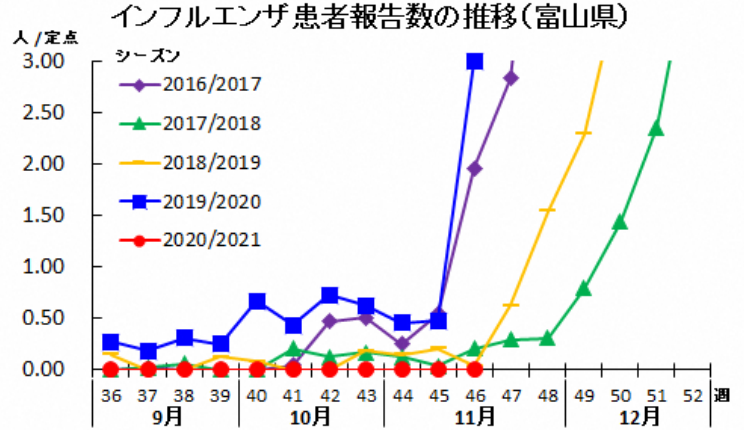
指定感染症 新型コロナウイルス感染症 4件

《定点報告の感染症》

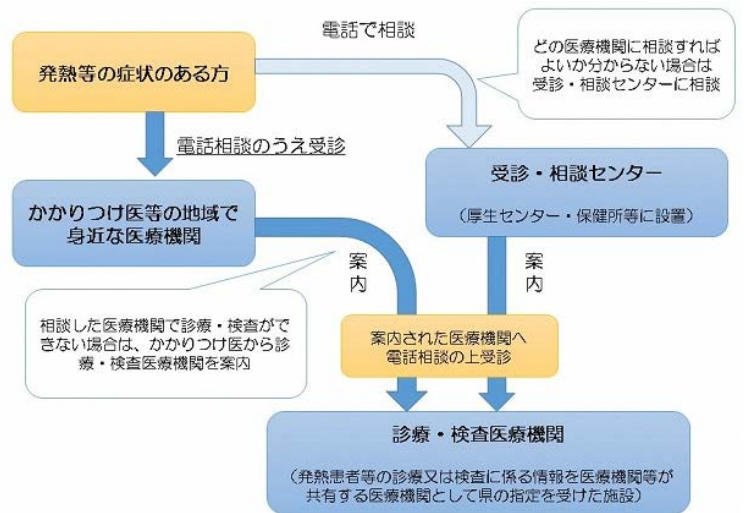
今週の県内上位6疾患

順位	疾病名	定点あたりの数	
		今週(増減)	先週
1位	感染性胃腸炎	2.17(↑)	1.79
2位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.97(→)	0.97
3位	水痘	0.79(↑)	0.24
4位	突発性発しん	0.31(↓)	0.34
5位	咽頭結膜熱	0.28(↑)	0.24
6位	マイコプラズマ肺炎	0.20(↓)	0.40

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます
アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>



発熱患者等に対する新たな相談・受診体制



富山県厚生部健康課 HP より

○感染症発生動向調査報告状況（令和2年第46週 令和2年11月9日～令和2年11月15日）

分類	疾患	今週報告分（第46週）					累積報告数							
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
指定感染症	新型コロナウイルス感染症			3		1	4	46	13	41	10	318	428	
二類感染症	結核							16	5	31	8	33	93	
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症							1	1	9		17	28	
四類感染症	E型肝炎							3					3	
	A型肝炎							9				1	10	
	デング熱											1	1	
	レジオネラ症							1		15	1	15	32	
五類感染症	アメーバ赤痢									1	1	2	4	
	ウイルス性肝炎											1	1	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症							2		7	1	3	13	
	急性脳炎							2		1		2	5	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症									2		7	9	
	後天性免疫不全症候群											1	1	
	侵襲性肺炎球菌感染症							2		3		5	10	
	水痘（入院例）							1	2	2		2	7	
	梅毒							2		4		16	22	
	破傷風									1		2	3	
	百日咳											24	26	
	定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ							625	290	892	567	1,190	3,564
RSウイルス感染症						1	0.10	2	5	26	4	39	76	
咽頭結膜熱		1		5		2	0.28	106	58	135	9	93	401	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1	1	10	4	12	0.97	131	193	1,252	186	1,395	3,157	
感染性胃腸炎		19	11	7	1	25	2.17	1,040	591	721	278	1,972	4,602	
水痘			1	2		20	0.79	30	34	80	18	118	280	
手足口病				1			0.03	18	3	35	9	56	121	
伝染性紅斑								9	26	32		165	232	
突発性発しん		3	1	2		3	0.31	38	26	196	67	176	503	
ヘルパンギーナ		1					0.03	72	2	22	4	8	108	
流行性耳下腺炎									9	7	6	16	38	
流行性角結膜炎				1			0.14	1	6	13	2		22	
細菌性髄膜炎										1		2	3	
無菌性髄膜炎									1			1	6	8
マイコプラズマ肺炎			1				0.20	2	13	27	16	10	68	
クラミジア肺炎												1	1	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）										2	2		4	
インフルエンザによる入院患者（*）											1	1		

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

* インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和2年第36週(8月31日)～の集計です。

○感染症発生動向調査報告状況（令和2年10月分）

		10月報告分					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
五類感染症 (定点把握)	性器クラミジア感染症					6	6	1	2	17		50	70
						1.50	0.60						
月報対象疾患 (下段は定点当たりの患者数を示す)	性器ヘルペスウイルス感染症					1	1		6	1	5	30	42
						0.25	0.10						
	尖圭コンジローマ			1		4	5			3		9	12
				0.33		1.00	0.50						
	淋菌感染症					2	2	1		6		13	20
						0.50	0.20						
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	2	4	1	2	3	12	13	13	22	17	32	97
		2.00	4.00	1.00	2.00	3.00	2.40						
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症			2			2	2		9			11
				2.00			0.40						

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。